

令和元年度 保護者アンケート集計結果 4:そう思う、3:少し思う、2:あまり思わない、1:思わない、0:わからない

	評 価 項 目	%					評価 平均	昨年
		4	3	2	1	0		
1	学校や各年次の経営方針が保護者に十分に伝えられていると思いますか。	37%	37%	20%	6%	0%	3.1	3.2
2	総合学科やシラバス（学習内容）・観点別評価についての説明は十分に行われていると思いますか。	43%	35%	18%	2%	2%	3.2	3.2
3	生徒の実態や進路志望に応じたカリキュラムを編成していると思いますか。	49%	41%	2%	2%	6%	3.5	3.4
4	生徒の主体的な学習活動や家庭学習の定着のための工夫がなされていると思いますか。	31%	41%	16%	6%	6%	3.0	3.1
5	生徒に興味・関心をもたせ、分かりやすい授業づくりに努めていると思いますか。	45%	37%	8%	4%	6%	3.3	3.3
6	教職員は教育活動に使命感と熱意を持って取り組んでいると思いますか。	43%	39%	14%	4%	0%	3.2	3.4
7	生徒の個人情報の取扱いについて、十分に配慮されていると思いますか。	55%	31%	2%	6%	6%	3.4	3.5
8	校則を遵守し、基本的な生活態度（時間を守る、挨拶をする、服装・頭髪をきちんとするなど）を身につけるための指導が適切にされていると思いますか。	59%	35%	0%	2%	4%	3.6	3.6
9	生徒の規範意識を高め、非行や問題行動の防止に努めていると思いますか。	65%	24%	2%	4%	6%	3.6	3.4
10	生徒の悩み事などに対応する教育相談が適切になされていると思いますか。	51%	27%	10%	6%	6%	3.3	3.4
11	教師は面談等を通して生徒を理解し、生徒一人一人に合った指導をしていると思いますか。	51%	35%	6%	2%	6%	3.4	3.4
12	いじめの未然防止は適切になされていると思いますか。	47%	27%	4%	8%	14%	3.3	3.3
13	いじめの早期発見・早期対応は適切になされていると思いますか。	45%	22%	8%	10%	16%	3.2	3.4
14	交通安全や防災教育など生徒の安全に対する取り組みは適切になされていると思いますか。	45%	43%	6%	0%	6%	3.4	3.4
15	清掃が行き届いており、環境の美化が図られていると思いますか。	76%	22%	0%	0%	2%	3.8	3.8
16	部活動（愛好会を含む）は活発に行われていると思いますか。	55%	39%	4%	2%	0%	3.5	3.5
17	生徒は学校行事・生徒会行事（体育祭や文化祭など）に満足していると思いますか。	45%	43%	2%	10%	0%	3.2	3.5
18	地域の人材活用や地域に貢献する活動に十分に取り組んでいると思いますか。	59%	35%	4%	2%	0%	3.5	3.5
19	進路に関する情報は適切に提供されていると思いますか。	43%	37%	16%	4%	0%	3.2	3.4
20	生徒の進路志望達成に向けてきめ細かな指導がなされていると思いますか。	49%	29%	12%	2%	8%	3.4	3.3
21	課外講習や長期休業中の講習など、学習の機会を適切に提供していると思いますか。	37%	49%	8%	2%	4%	3.3	3.5
22	本校舎と保護者・PTA活動との協力・連携が十分に行われていると思いますか。	47%	39%	6%	4%	4%	3.3	3.3
23	施設・設備は充実していて、十分に整備されていると思いますか。	59%	27%	12%	2%	0%	3.4	3.6
24	お子様の本校舎での学校生活は明るく充実したものになっていると思いますか。	53%	37%	6%	0%	4%	3.5	3.6
25	お子様を本校舎に入学させてよかったと思いますか。	65%	27%	4%	0%	4%	3.6	3.8

※4: そう思う 3: やや思う 2: あまり思わない 1: 思わない 0: わからない

教務図書部

No.	項目	評価事項	4	3	2	1	0	平均	昨年
1	1 社会で求められる学力の向上を目指し、基礎・基本を重視した授業の展開を推進する。	(1)授業における小テストや朝テストなどから生徒一人ひとりの学力やつまづきを的確に把握し、日々の授業に反映する。 (2)生徒の興味・関心を引き出す授業の展開を目指し、積極的に校外の研修に参加するなど、教材研究と授業の創意工夫に努める。 (3)生徒による授業アンケートを実施し、授業改善に努める。	11	5	0	0	0	3.7	3.4 3.5
2	2 自らの夢に向かって主体的・探究的に学ぶ態度の育成と家庭学習の確立を目指す。	(1)授業における言語活動や表現活動を充実させ、主体的・対話的な深い学びに資する授業改善を目的として、教員間の日々の情報交換や公開・研究授業を通じて、指導方法や授業力の向上を図る。 (2)教科・科目、総合的な学習(探究)の時間を通じて、自ら課題を設定し、探究する態度の育成に努める。 (3)視聴覚教材や情報処理機器を活用した活動を展開し、自己表現力を高める指導を研究する。	9	7	0	0	0	3.6	3.5
3	3 学校情報を積極的に発信するとともに地域資源を有効に活用し、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の展開を推進する。	(1)ホームページ、学校案内、その他通信・広報を通じて学校情報を積極的に発信する。 (2)学校行事、総合的な学習(探究)の時間及び「産業社会と人間」等を通じて、地域と連携した教育活動に努める。 (3)体験入学、中学校での学校説明会、中高連携協議会等を通じて、地域の中学校との連携に努める。	14	2	0	0	0	3.9	3.5
4	4 読書習慣を定着させるとともに優れた芸術に触れる機会を設け、情操教育を推進する。	(1)朝自習の時間等を活用した読書習慣の定着を図り、創造力を育むとともに、自らの夢を掲げ、豊かな心を持った生徒の育成に努める。 (2)各教科と連携し、図書館の活用や図書の貸し出しの促進を図る。 (3)図書委員会の活動を活性化し、新着図書等の生徒への情報発信を図る。 (4)優れた伝統や文化等の鑑賞を通じて、豊かな心の育成に努める	7	9	0	0	0	3.4	3.0 ~ 3.2

生徒指導保健部

No.	項目	評価事項	4	3	2	1	0	平均	昨年
5	1 基本的生活習慣の確立・生徒理解	(1)容儀指導等を通じて校則厳守の態度の育成を図るとともに規範意識の育成を図る。 (2)生徒一人ひとりに目を配り、元気な挨拶、礼儀正しい態度の育成を図る。 (3)玄関指導、登校指導など行い、生徒把握につとめ事故・非行の未然防止を図る。 (4)年3回の2者面談等を通じて、生徒理解に努めるとともに、全教員の共通理解を図る。 (5)生活相談アンケート等を通じて、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努める。	15	1	0	0	0	3.9	3.4
6	2 安全安心な学校生活の充実	(1)生徒の安全に配慮し、危機管理マニュアルの周知徹底を図る。 (2)校内外の施設・設備の安全点検、安全管理、巡回指導に努める。 (3)交通安全教室、防災教室を実施し交通ルールや避難経路の周囲徹底を図る。 (4)性教育セミナー、薬物乱用防止教室、食育講座を通じて命の尊さや食の大切さを理解させ、健康の重要性を自覚させる。	13	3	0	0	0	3.8	3.6
7	3 特別活動・部活動の活性化	(1)学校行事・生徒会行事の実施計画や役割分担を十分に検討し、生徒の主体性を培う。 (2)特別活動や部活動を通じて育てようとする能力や態度を踏まえ、指導する。 (3)生徒と教員が一体となって、粘り強く取り組み、自ら考え、多様な人と協調する態度の育成を図る。	6	10	0	0	0	3.4	3.5
8	4 地域社会	(1)特別活動・総合的な学習(探究)の時間・部活動等を通じて家庭・地域との連携を密にし、社会性の涵養や豊かな情操の育成を図る。 (2)学校全体で地域に貢献する活動を積極的に実施し、地域に根差した学校として、相互扶助の意識を高め、互いに協力し合う体制を構築する。	11	5	0	0	0	3.7	3.4
9	5 健康管理、教育相談・特別支援、環境管理	(1)健康管理 ア 健康診断、健康観察、健康相談により、健康状態の把握に努める。 イ 保健室来室状況やアセス検査等から心身の問題を抱えている生徒の把握と早期対応に努める。 ウ 年次・他分掌・家庭との連携を図り、健康相談活動を推進する。 (2)教育相談の活動の充実を図り、生徒の学校生活を支える。 イ カウンセリング機能の充実と活用(SCの要請、報告等) (3)環境管理 清掃、美化活動の充実と学習環境の整備に努めるとともに、省エネの意識の高揚を図る。	14	2	0	0	0	3.9	3.4 ~ 3.5

※4: そう思う 3: やや思う 2: あまり思わない 1: 思わない 0: わからない

進路指導部

No.	項目	評価事項	4	3	2	1	0	平均	昨年
10	1 進路指導計画の計画立案	(1)各年次担当者、各分掌と意見交換しながら、生徒の多様な進路志望に対応できる指導計画を立てる。	16	0	0	0	0	4.0	3.4
11	2 主体的進路研究や体験活動を通じたキャリア教育の充実	(1)インターンシップを実施し、事前学習・事後学習を充実させる。また、実施にあたっては生徒の進路志望とのマッチングを図り、受け入れ事業所の開拓と実習内容の調整を行う。 (2)「産業社会と人間」「FST」の授業編成や実施計画について教務部・年次と連携し、生徒が自らの進路について主体的に考えられる場面作りを行う。	14	2	0	0	0	3.9	3.5
12	3 進路指導のための情報収集と生徒・保護者への時期を得た進路情報の提供	(1)「進路の手引き」を作成し配付する。 (2)「進路便り」を発行する。 (3)「進路講話」「進路説明会」等の校内進路行事を実施し、保護者にも案内する。 (4)面接・小論文指導計画の立案。 (5)外部団体等からの進路情報を収集し、生徒の進路指導に活用する。 (6)進路資料室に進路関係の資料・受験報告書・過去問題等を備え、活用に供する。	8	8	0	0	0	3.5	3.5

渉外部

No.	項目	評価事項	4	3	2	1	0	全体	昨年
13	1 本校教育活動の情報発信	(1)PTA総会を保護者との共通理解を深め学校との連携を強める機会と位置づけ、その実施方法と内容の充実を目指す。 (2)校内研修会への参加を促進し、会員相互の親睦を図るとともに体育祭や文化祭などの学校行事に気軽に参加しやすい環境を整える。 (3)ホームページやPTA新聞を通じて学校の情報を保護者や地域に向けて発信する。	10	6	0	0	0	3.6	3.4
14	2 学校教育の環境改善	(1)後援会の協力を得ながら、生徒が安全に部活動に参加できる環境を整える。 (2)同窓会事務局として、同窓会総会や交流会・同窓会入会式を運営し、卒業後も同窓生として学校と繋がりを持てる体制を整える。	11	5	0	0	0	3.7	3.4
15	3 私費の予算立案と会計処理	(1)各会計(PTA・後援会・協賛会・同窓会)の予算編成を適切に行う。 (2)会計実務の厳正な管理・処理を実行するとともに関係諸帳簿を整備する。	14	2	0	0	0	3.9	3.4

1年次

No.	項目	評価事項	4	3	2	1	0	平均	昨年
16	1 ホームルーム経営	(1)ホームルーム・学校行事等に積極的に取り組み、互いを尊重し、思いやり、信頼する態度を育成する。 (2)家庭と情報を共有して連携を密にし、年次内で課題と目標を共有しながらチームでの指導を目指す。	13	3	0	0	0	3.8	3.6
17	2 生徒指導	(1)挨拶や適切な言葉遣い、服装容儀の徹底をはかり、規律を遵守し、時間・期限を厳守するように指導する。 (2)あらゆる場面で生徒の様子をつぶさに観察し、コミュニケーションを図って生徒の状況把握に努める。 (3)保護者、生徒指導部、教育相談・特別支援委員会と連携をとり、生徒の抱える問題の解決のために的確な指導にあたる。 (4)他者の人格を傷つける言動を決して許さないという認識を共有し、毅然たる態度で指導に臨む。	16	0	0	0	0	4.0	3.6
18	3 進路指導	(1)生徒個々の能力・適性・希望等を早期に把握し、具体的な目標をもたせる。 (2)個人面談の機会を多くし、生徒個々の特性・志望に即した進路指導に努める。 (3)進路指導部と連携し、生徒と保護者双方に適切な資料や情報を発信する。 (4)ホームルーム活動や総合的な探究の時間、産業社会と人間などを通じて、職業観・勤労観を育成し、生徒に自らが将来を主体的に考える態度を身に付けさせる。	16	0	0	0	0	4.0	3.6
19	4 学習指導	(1)生徒の学習状況を把握し、個々の課題にあわせた指導を行って基本的学習習慣を確立させる。 (2)教科担当者や家庭との情報交換を行い、家庭学習や課題提出を徹底させる。 (3)成績不振を未然に防ぐために、教科担当者と連携して早期に指導に取り組む。	15	1	0	0	0	3.9	3.6

※4: そう思う 3: やや思う 2: あまり思わない 1: 思わない 0: わからない

2年次

No.	項目	評価事項	4	3	2	1	0	平均	昨年
20	1 ホームルーム経営	(1)ホームルーム・学校行事等に積極的に取り組み、互いを尊重し、思いやり、信頼する態度を育成する。 (2)ホームルーム活動等での話し合いを通じて、個々の課題や人間関係の課題及び学校生活の課題を解決できる能力を培う。	12	3	1	0	0	3.7	3.5
21	2 生徒指導	(1) 礼儀や服装容儀の徹底をはかり、規律を遵守し、時間・期限を厳守するとともに正しい言葉遣いや挨拶ができるよう、粘り強く全職員で指導する。 (2) 保護者、生徒指導部、教育相談・いじめ対策委員会との連携を密にし、問題を抱える生徒に対する的確な指導にあたる。 (3) 他者の人格を傷つける言動は決して許さないと毅然たる態度で臨む。	12	3	1	0	0	3.7	3.4
22	3 進路指導	(1) 年次団全員で個人面談をするなど、生徒個々の能力・適性・希望等を早期に把握し、具体的な目標を持たせて様々な活動にチャレンジさせる。 (2) 進路指導部と連携しながら、生徒と保護者双方に適切な資料や情報を発信する。 (3) ホームルーム活動や総合的な学習の時間を通じて、適切な職業観・勤労観を育成する。	15	1	0	0	0	3.9	3.4
23	4 学習指導	(1) 朝テストやマナトレ、各教科・科目を通して、生徒個々の学習状況を把握し、基本的学習習慣を確立させた上で、1年後を見据えたきめ細かい指導をする。 (2) 各教科担当者との連携を密にし、わかる授業を実践するとともに、成績不振者に対しては、教科担当者との連携して早期に指導に取り組む。 (3) 年次・教科担当者・家庭間の連携を密にし、課題提出や予習復習の家庭学習を徹底させる。	11	5	0	0	0	3.7	3.3

3年次

No.	項目	評価事項	4	3	2	1	0	平均	昨年
24	1 ホームルーム経営	(1)学校生活における様々な経験を通し、振り返りの時間を設定する。また、総合的な学習の時間での年次教員団との面接ノート作りを通して、自らの在り方生き方についての自覚を育てる。 (2)お互いの人格を尊重し、相手を思いやる態度を育成する。 (3)あらゆる機会を通じて、生徒一人ひとりとコミュニケーションをとる。また年次教員団との面談を年間を通して行い、生徒と年次教員団との信頼関係を深める。 (4)教員間で情報を共有しながら問題解決を目指す。	11	4	1	0	0	3.6	3.5
25	2 生徒指導	(1)学校生活全体を通し、挨拶や服装、提出物等について毅然とした態度で指導し、責任ある生活態度のもとに基本的な生活習慣を確立させる。 (2)教育相談の充実を図り、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期解決に努める。	10	5	1	0	0	3.6	3.4
26	3 進路指導	(1)綿密な個人面談・保護者面談を行い、生徒の状況に応じて障がい者就労支援センターといった専門機関を活用するなど、一人ひとりの生徒に合わせた進路指導を行う。 (2)進路指導部と連携しながら、生徒・保護者へ適切な資料や情報を提供する。 (3)進学志望者への講習、就職志望者への指導を充実させる。 (4)模擬試験・小論文模試・公務員模試を活用し、生徒の実力養成に努める。	12	4	0	0	0	3.8	3.5
27	4 学習指導	(1)朝テストやマナトレの取り組み状況から、教科担当者や家庭との連絡を密にして、休み時間や放課後、家庭学習の時間を利用し疑問点の解消に努める。 (2)授業での取り組みについて教科担当者との連絡を密にして、成績不振者に対して連携して早期に指導に取り組む。	10	6	0	0	0	3.6	3.4

令和元年度 教職員による学校評価

令和元年12月実施

※4: そう思う 3: やや思う 2: あまり思わない 1: 思わない 0: わからない

事務部

No.	項目	評価事項	4	3	2	1	0	平均	昨年
28	1 迅速・適切・明快な窓口対応	(1)来校者や電話等への事務室の対応で、相手に不快感を感じさせることのないように、迅速かつ適切・明快に対応する。 (2)事務室窓口や電話等による伝言を、関係職員に正確に確実に連絡・報告をする。 (3)校内における各種行事や諸会議等の来校者を的確に把握し、丁寧に対応する。	16	0	0	0	0	4.0	3.8
29	2 予算の有効活用	(1)ICT機器を活用した情報教育・遠隔教育・その他教育活動が円滑に行われるように、教育環境の整備に努める。 (2)各分掌・教科等の要望や、県で行われる事業の必要性・緊急性を精査した予算執行計画の作成並びに年度途中での定期的な予算執行計画の見直しを行うとともに、適時適切な予算執行に努める。	16	0	0	0	0	4.0	3.8
30	3 施設設備の安全確保	(1)緊急時に備え、避難経路の安全確保や非常時に使える消耗品などの準備に努める。 (2)消防用設備・ボイラー機器等の整備点検を行う。	16	0	0	0	0	4.0	3.9
31	4 校舎内外の環境整備・美化	(1)積極的に校舎内外を巡回し、施設設備の安全対策・環境美化の確保に努める。 (2)保健部との連携を図り、職員・生徒のごみ分別意識をより一層高める。 (3)省エネルギー対策(こまめな消灯や節水等)を実施する。	16	0	0	0	0	4.0	3.9
32	5 各分掌・年次との情報共有	(1)校舎内外、生徒職員の情報の共有に努め、円滑な学校業務を行えるように努める。 (2)報告・連絡・相談を徹底して行う。	16	0	0	0	0	4.0	-

働き方に関すること

No.	項目	評価事項	4	3	2	1	0	平均	昨年
33	1 業務改善	(1)会議・研修等への出席・参加などに簡易起案を導入する。 (2)資料を事前配布し、会議時間を短縮する。 (2)学校独自の報告書等を精査・簡素化する。	12	4	0	0	0	3.8	-
34	2 教職員の働き方	(1)コミュニケーションしやすい雰囲気づくりに努める。 (2)年次休暇を積極的に取得するなど、意識改革に努める。 (3)部活動休養日を統一して定時退勤日を設定する。	12	3	1	0	0	3.7	-